

第69回日本ハンドボール選手権大会 戦況

開催日	2017 年 12 月 24 日 日 曜日	種 別	男子		
開催地	(都道府県名) 大阪府	会場名	大阪市中央体育館		
決勝					
スコア	チーム名	得点	前 半	得点	チーム名
	大崎電気	31	12 — 9	30	トヨタ車体
			後 半		
			15 — 18		
第1延長		第2延長		7mスローコンテスト	
3 — 1		—		—	
1 — 2		—			

	見出し	大崎、接戦を制し王者に輝く
戦況	前半	<p>車体のスローオフで始まった決勝戦。立ち上がり、両チームともに動きが重い。ポストの連携がうまくいかない。大崎、かかんにゴールを狙うも車体GKの加藤の好セーブに阻まれる。一方、車体木切倉の連続ゴール、門山のロングシュートで前半15分、6-3で3点差を付ける。前半20分、大崎は宮崎を投入。それまでつながらなかったポストへの落としが決まると、車体のシュートミスから速攻で逆転する。車体門山、笠原が巧みに決めるも、勢いに乗る大崎の速攻を止められず、12-9の大崎3点リードで前半を折り返す。</p>
	後半	<p>後半立ち上がり、両者一步も譲らず一進一退を繰り返す。逆転のタイミングは大崎の元木。対する車体吉野。要所を確実に決めて、相手のリードを許さない。後半20分、大崎の宮崎が流れを持っていくかと思われたが、車体GK甲斐が好セーブ2本を見せる。すると車体内海がサイドずらしを決め、1点差に詰め寄せると、吉野が7MTをもぎとり、杉岡が決め、延長戦に突入した。延長戦前半16秒で大崎の元木が痛恨の退場。しかしながらこの2分間で車体が奪えたのは吉野の1本のみ。元木の退場が明けると大崎は東長浜の2連続パスカットからの速攻で小室が決め、前半で2点差をつける。後半車体甲斐がまたまた好セーブで藤田がGKにこたえ、1点差。大崎に食い下がるが、2分48秒吉野が退場、4分30秒信太が気迫のあるミドルを決め、車体万事休す。31-30で大崎が逃げ切り、2年連続で優勝を飾った。</p>

戦況報告書作成者	福岡 美千子
----------	--------